

「デザイン情報学 (Design Informatics) 」は、“造形的デザイン行為”と“情報構築による意味生成”というふたつの側面から、デザインとその周辺世界を開拓する理論と実践のフレームです。われわれが生きる情報化社会は、多様なプレイヤーが不断の離合集散を繰り返しながら適切なかたちを求め続ける場である。こうした見地から、新たな表現＝提案を通して社会の関心をリードし、生活や社会環境を再編するための新しいかたちを見出す。それがデザイン情報学の使命です。

情報化とは、まず流動化を意味します。表現ジャンルや産業組織、地域、国といったこれまでの枠組みを越えることで生まれる可能性に注目し、新しい組み合わせをデザインする。そのためには、時代を読み解く知識基盤や倫理観とともに、生活者としての日常への視線、そして課題設定、調査分析、構想立案から提案へ至るプロセスを駆動する内的エネルギー＝創造力が要求されます。デザイン情報学科では美術大学教育の伝統を踏まえながらもその枠を越えて、総合的な造形力とテクノロジー、メディア、社会科学の学問分野を統合させた「汎技術としてのデザイン知」を自在に生かすことのできる人材の育成を目標としています。

DP1	専門的な知識を理解し深めることができる。
DP2	専門分野の基盤となる文化や諸科学について総合的に理解している。
DP3	制作・研究を深め広げる技能を身につけている。
DP4	他者に伝える表現能力および他者とともに考える対話能力を身につけている。
DP5	批判的思考を働かせ、課題や主題を自主的に設定することができる。
DP6	論理的思考・創造的思考を働かせ、独創的な課題解決の判断や構想ができる。
DP7	制作・研究に幅広い関心と高い意欲を持ち、社会のなかで主体的に取り組むことができる。

科目区分		1年次	2年次	3年次	4年次
文化総合科目Ⅰ類		文化総合Ⅰ類カリキュラムマップ			
文化総合科目Ⅱ類		文化総合Ⅱ類カリキュラムマップ			
造形総合科目	Ⅰ類必修	造形総合・絵画Ⅰ 造形総合・彫刻Ⅰ			
	Ⅰ類選択必修	造形総合・絵画Ⅱ 造形総合・彫刻Ⅱ 造形総合・デザインⅡ 造形総合・工芸Ⅱ 造形総合・メディア表現Ⅱ			
	Ⅱ類	造形総合Ⅱ類カリキュラムマップ			
	学科別科目	Ⅰ類必修 Ⅰ類選択必修 Ⅱ類選択必修	デザイン情報学概論Ⅰ デザイン情報学概論Ⅱ 情報処理Ⅰ デザイン情報学基礎演習Ⅰ デザイン情報学基礎演習Ⅱ デザイン情報学基礎演習Ⅲ デザイン情報学概論Ⅲ デザイン情報学概論Ⅳ 情報処理Ⅱ デザイン情報学特別演習Ⅰ-A デザイン情報学特別演習Ⅰ-B デザイン情報学特別演習Ⅰ-C メディア表現演習Ⅰ メディア表現演習Ⅱ メディア表現演習Ⅲ メディア表現演習Ⅳ メディア表現論Ⅰ メディア表現論Ⅱ コミュニケーション創発演習Ⅰ コミュニケーション創発演習Ⅱ コミュニケーション創発演習Ⅲ コミュニケーション創発演習Ⅳ コミュニケーション創発論Ⅰ コミュニケーション創発論Ⅱ	デザイン情報学各論Ⅰ デザイン情報学各論Ⅱ 情報処理Ⅲ デザイン情報学特別演習Ⅱ-A デザイン情報学特別演習Ⅱ-B デザイン情報学特別演習Ⅱ-C デジタル技術演習Ⅰ デジタル技術演習Ⅱ デジタル技術演習Ⅲ デジタル技術演習Ⅳ メディア表現演習Ⅴ メディア表現演習Ⅵ メディア表現演習Ⅶ メディア表現論Ⅲ メディア表現論Ⅳ コミュニケーション創発演習Ⅴ コミュニケーション創発演習Ⅵ コミュニケーション創発演習Ⅶ コミュニケーション創発論Ⅲ コミュニケーション創発論Ⅳ	デザイン情報学演習Ⅲ デザイン情報学総合研究Ⅰ デザイン情報学特別演習Ⅱ-D デザイン情報学特別演習Ⅱ-E デザイン情報学特別演習Ⅱ-F デジタル技術論Ⅰ デジタル技術論Ⅱ プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ デジタル技術演習Ⅴ デジタル技術演習Ⅵ デジタル技術演習Ⅶ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ
卒業制作					卒業研究・卒業制作